

令和7年度 南区特色ある区づくり予算 委員提案一覧  
(区役所企画事業・区自治協議会提案事業)

| 番号 | 区分<br>(企画・提案) | 事業名                    | 提案委員名  | 担当課<br>担当部会               | 事業概要   | 対応  |
|----|---------------|------------------------|--------|---------------------------|--|---|
| 1  | 企画            | 南区まちづくりアンケート調査の実施      | 高橋 文子  | 地域総務課<br>第1部会             | 【内容】<br>今迄も実施したかもしれませんが、10代から高齢者にアンケート調査を行い、南区のまちづくりを考えるきっかけとしたい。  | 【次期区ビジョンまちづくり計画策定の際に検討】<br><br>新潟市では、毎年、市政世論調査として、市民生活の現状、市民の市政に対する要望、意識、関心度などを把握し、今後の市政運営の基礎資料を得る目的でアンケート調査を実施しています。<br>南区においては、次期区ビジョン策定の際、必要に応じてアンケート調査なども検討します。   |
| 2  | 企画            | 防災意識啓発の講演会の継続          | 高橋 文子  | 地域総務課<br>第1部会             | 【目的・内容】<br>防災意識の醸成を目的に定期的に講演会の実施   | 【既存事業(地域と取り組む防災事業)で実施】<br><br>南区では毎年防災セミナーに気象予報士や防災専門講師などをお招きし、防災講話を開催しています。毎年実施する事業として定着しており、今後とも充実した内容により、多くの方にご参加いただけるよう、努めて参ります。  |
| 3  | 企画            | 避難所生活体験訓練              | 西山 ゆき  | 地域総務課<br>第1部会             | 【目的】<br>避難所担当職員と地域の防災リーダーと合同で実践的な訓練を行うことで課題の共有や運営のスキルアップを図る。<br><br>【内容】<br>マニュアルや資料の確認だけではなく、停電、断水、夜間の発災など避難所開設が困難となる場合を想定した訓練を行い、実際に近い体験をする事で各地区の防災訓練の参考にもなる。<br>行政職員と地域でイメージを共有することで連携が深まる。   | 【危機管理防災局で類似事業を計画中】<br><br>この度の能登半島地震の経験を踏まえ、現在、東区が実施している住民参加型の避難所運営訓練を全市展開する方向で調整中です。<br>ご提案の取り組みが訓練に盛り込まれるよう、事業課との調整に努めて参ります。  |
| 4  | 企画            | 区バスで中・高生の移動をささえよう      | 織田 絹子  | 教育支援センター<br>地域総務課<br>第1部会 | 【目的】<br>・「部活の地域移行」推進に備え、中学生の移動費用の補助<br>・白根高校と南区内の各地域を区バスでつないで白根高校への通学手段を整備<br><br>【内容】<br>◎R8年度からの「地域移行」実施に備え、中学生やこれから中学生になる児童が「地域クラブ」を選択する際に、家の人が送迎できないことから諦めてしまう事が無いように、移動にかかる経費にも補助をお願いします。<br>◎高校生の区バス利用増の為に昨年度より回数券の配布により、利用のきっかけ作りを実施いただき感謝しております。がしかし、現行ルートでは白根高校への通学に対応できていません。通学ルートの整備により南区唯一の県立高校への進学希望者増を目指したいです。 | 【全市的な動きを注視していく】<br>【通学時に合わせた区バスの運行は困難】<br><br>部活の地域移行は、受け皿となる団体など、現状が見えず、活動場所や移動先、範囲など不明な点が多い状況です。南区だけでなく、全市的な課題であるため、市全体の動きを注視していきたいと考えています。<br><br>なお、白根高校への通学には路線バス大野・白根線をはじめ、加茂、新津・小須戸、燕、巻のほか、区バス、白根・さつきの、大鷲の2ルートが現状、利用可能です。<br>バス業界は全国的な運転手不足で、減便や廃線が相次いでおり、南区も同じ状況の中、限られた車両と運転士で、区バスフルルート運行しています。<br>現状、朝夕の通学時間に合わせて区バスを同時刻に運行することは困難な状況です。 |
| 5  | 企画            | ルーラル・アメニティーロードの延伸と環境整備 | 山田 久美子 | 建設課<br>第1部会               | 【目的】<br>旧白根市で造られた、自転車歩行者専用道路ルーラル・アメニティーロードを延伸し、河川環境の美化を図るとともに住民の健康作り等に寄与する。<br><br>【内容】<br>ルーラル・アメニティーロードは白根総合公園付近からアグリパーク付近まで続く大通川沿いの自転車歩行者専用道路であるが、これを鷺ノ木排水機場付近まで延伸し、河川環境の美化を図るとともに、市民が安全にウォーキングやジョギング、サイクリングを楽しみながら健康づくりができるよう環境整備を行ってほしい。道路の延伸に加え、東屋やトイレを整備することにより、より利用しやすい道路として、南区北部のシンボリックスポットになるのではないかと。              | 【利用状況・地域要望を踏まえて検討していく】<br><br>「ルーラル・アメニティーロード」は白根総合公園から鷺ノ木大通川沿いに整備された全長約9kmの自転車歩行者専用道です。サイクリング、ジョギング、ウォーキングなどに利用されています。<br>アグリパークから桜遊歩道公園までの鷺ノ木大通川沿いの道路は、右岸の堤防道路は砂利道ですが左岸は市道で舗装されており、また自動車の通行もほとんどないため、左岸道路を利用していただきたいと考えます。東屋やトイレの整備については、自転車・歩行者の利用状況や地域の要望を伺いながら、必要性について検討していきます。  |
| 6  | 企画            | 悩み(生きづらさ)をかかえる方の居場所作り  | 泉田 紀代恵 | 健康福祉課<br>第2部会             | 【目的】<br>みつけイングリッシュガーデンのような花々、木々、宿根草に囲まれた癒し系のガーデンを造って欲しい。まん中に1つ建物があってそこに精神保健福祉などが常駐しているといい。<br><br>【内容】<br>不登校やひきこもりなど、なかなか家族以外の方となじめず、大切な子供時代や思春期を楽しんで過ごすことが出来ない方々のために、植物で癒しを与え、人々の交流(住民)ボランティアの情報交換の場、お年寄と若者の交流が計れると良いと思う。(みつけイングリッシュはオープンガーデナーの育成や中学生のボランティアも受け入れている。花を育てたり、販売もしている。まずはすてきな居場所ありきだと思う。)                    | 【市役所本庁や関係機関の動きを注視・連携していく】<br><br>新潟市ひきこもり相談支援センターや南区社会福祉協議会で、ひきこもり者と農業体験を結び付けた活動を始めており、その効果は注目されているところです。<br>費用に対する効果が見えない中で、イングリッシュガーデンのような大規模施設を新たに造成することは現状難しいですが、南区内の既存の居場所や資源を用いた不登校やひきこもりと農業や園芸を結び付けた活動について、市役所本庁(保健衛生部)や関係機関の動きを注視・連携していきたいと考えています。  |
| 7  | 提案            | 南区まちづくり活動サポート事業の見直し    | 笹川副会長  | -                         | 【内容】<br>・R6年度応募団体が4団体しかいなかった。<br>・説明会に出席している団体も事業内容を決めないで、とりあえず出席している。<br>・事業を始めた当初はたくさん応募があったのに。<br>原因としては、主な実施団体のコミ協が疲弊していること。2年目までしか継続できず(2年目は30万円)、事業が続くことが難しいこと。<br>・横に広がっていない。何かやり方を変えられるのではないかと。  | -   |